

モニタPC監視システム説明書

1 概要

「モニタPC監視システム」は、窓口混雑状況HP表示システムのモニタPCのダウンや何らかの通信障害によって、窓口混雑状況ホームページの更新ができなくなった場合に、そのことをいち早く察知するため、モニタPCの死活を他のパソコンから常時監視するシステムです。

2 本システムのファイル構成

「モニタPC監視.rb」「tools.rb」「holiday_japan.rb」の3つのプログラムファイルから構成されます。どちらもメモ帳などで開いて見ることができます。

3 プログラム実行環境

本システムは、窓口混雑状況HP表示システムと同じく、ruby 言語で記述されているので、動かすためには、Ruby（バージョン 2.0 以上）の実行環境をインストールする必要があります。

この説明書と同じフォルダにある ruby-dist フォルダには本システムを動かすのに必要な ruby のファイルがすべて入っているので、ruby-dist フォルダを丸ごとコピーするだけでインストールは完了です。

4 セットアップ作業

(1) 2つの ruby プログラムファイルと ruby プログラム実行環境のインストール

「モニタPC監視.rb」、「tools.rb」、「holiday_japan.rb」「ruby-dist(フォルダ)」を含む「モニタPC死活監視」フォルダを、モニタ監視用PCの適当な場所（C:¥ など）にコピーするだけです。

(2) 初期設定

ア 「モニタPC監視.rb」をメモ帳等で開く。

イ ①コンピュータ名、②警告メールの送信元、送信先、メールサーバ(smtplib サーバ) のアドレス、③窓口の開設時間（＝監視時間）の各項目を書き換えて保存する。

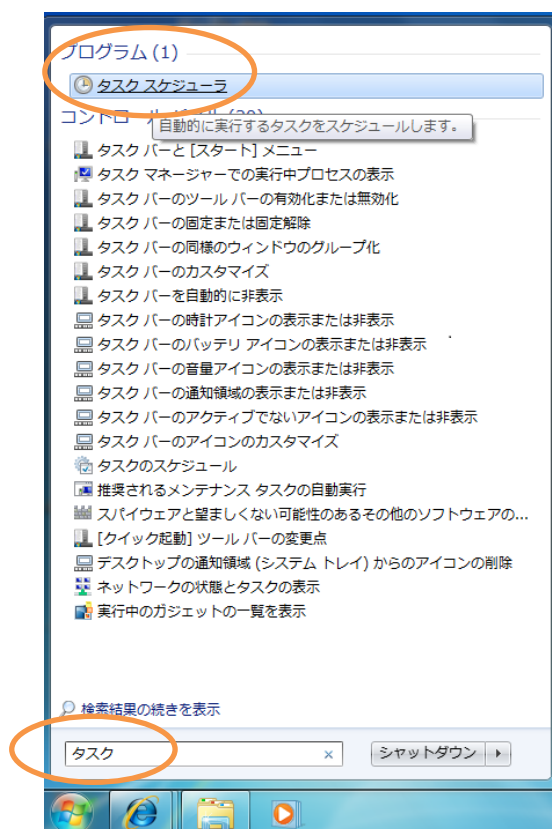
※ コンピュータ名は、スタートメニュー→コンピューターを右クリックしてプロパティを開くと確認することができます。

(3) タスクの登録（次ページ以降）

タスクの登録

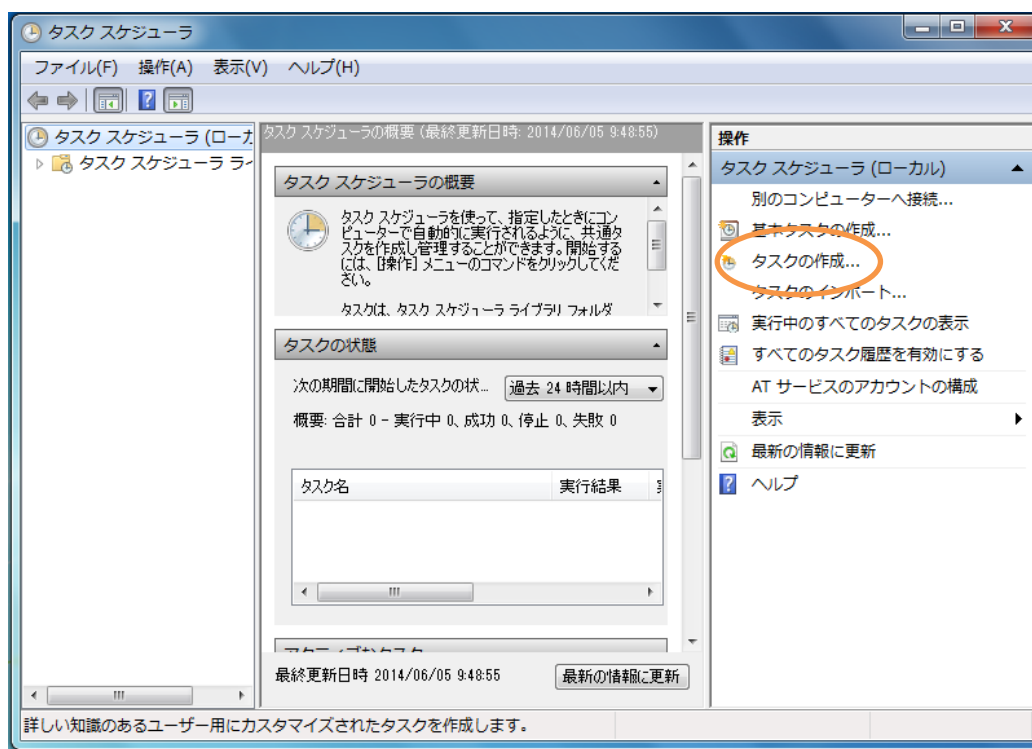
1 タスクスケジューラを開く。

- ①スターメニューをクリック
- ②一番下の「プログラムと検索」の入力ボックスに「タスク」と入力
- ③候補の一覧が表示されるので、「タスクスケジューラ」を選択する。

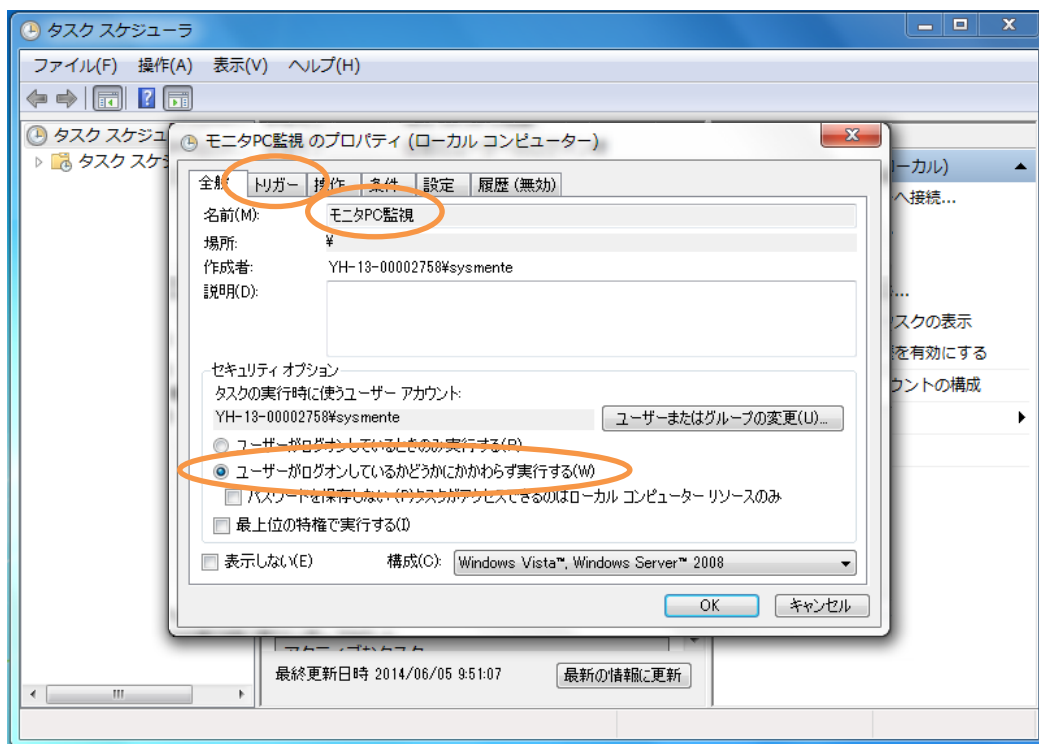


2 タスクを作成する。

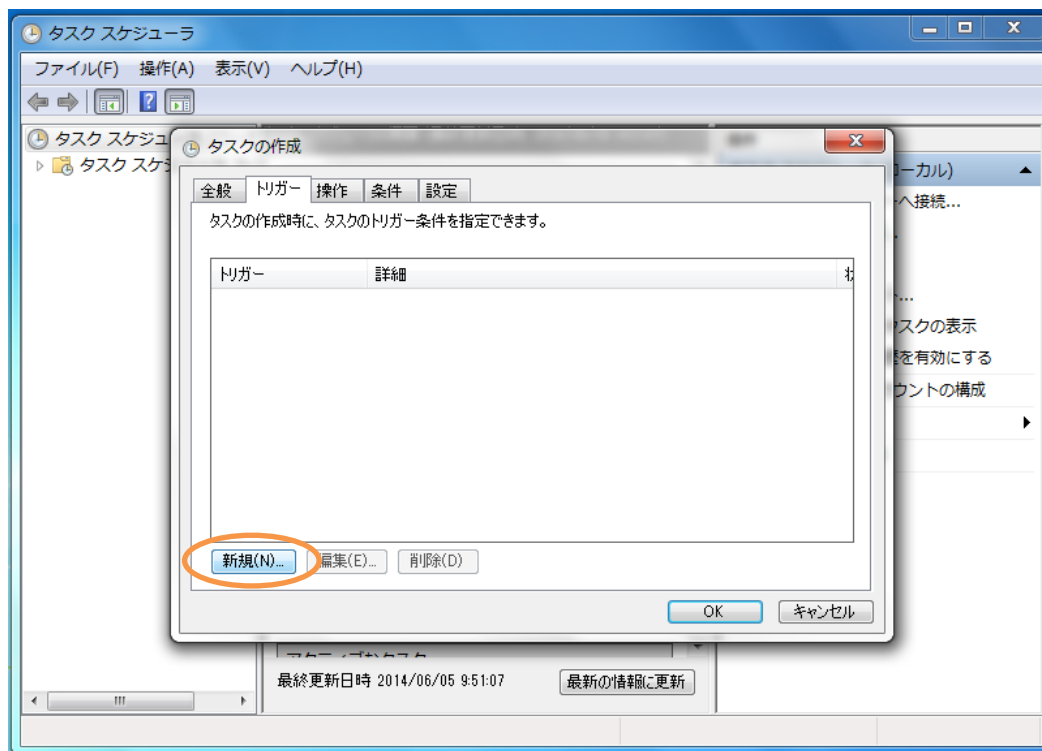
- ①右ペインの「タスクの作成」をクリック



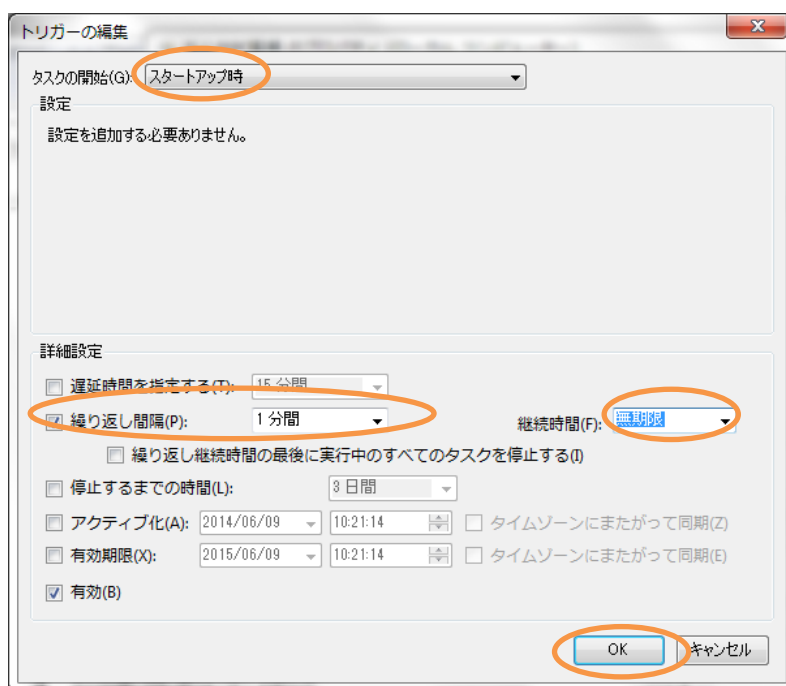
- ②タスクの作成ウインドウの「全般」の設定画面で、名前の欄に「モニタ PC 監視」と入力し、
 ③「ユーザーがログオンしているかどうかにかかわらず実行する」をチェックする。
 ④「トリガ」のタブをクリックして「トリガ」の設定画面を開く



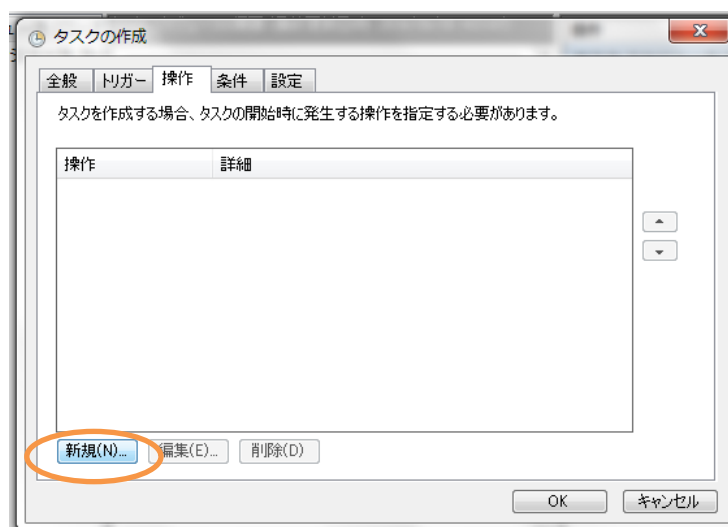
- ⑤「新規作成」ボタンをクリック



- ⑥「新しいトリガ」画面で「タスクの開始」のプルダウンメニューを開いて「スタートアップ時」を選択
- ⑦「繰り返し間隔」にチェックを入れ、その右のプルダウンメニューを開いて「5 分間」を選択
- ⑧マウスとキーボードで「5 分間」を「1 分間」に書き換える。（監視の間隔は1分に限らないので適宜設定してください。）継続時間は「無期限」にする。
- ⑨「OK」 ボタンをクリックして「タスクの作成」 ウィンドウに戻る。

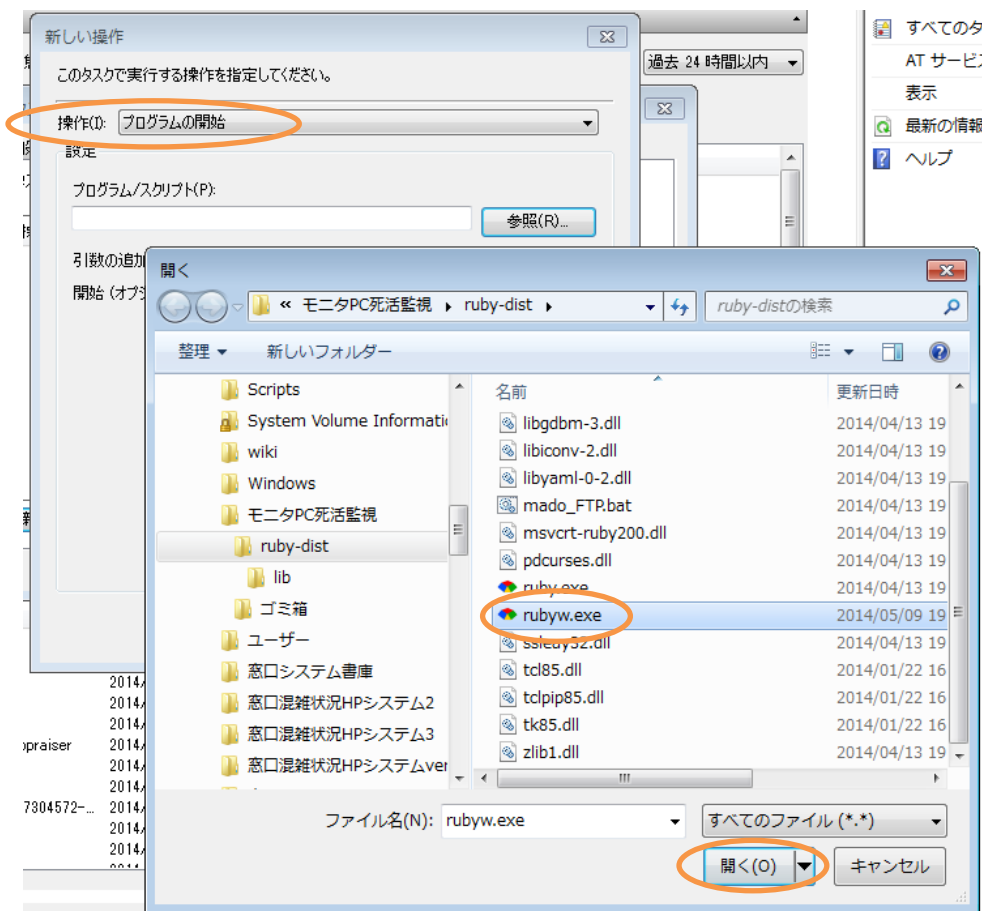


- ⑩「操作」のタブをクリックして「操作」の画面を開く。
- ⑪「新規」 ボタンをクリックして「新しい操作」の設定画面を開く。

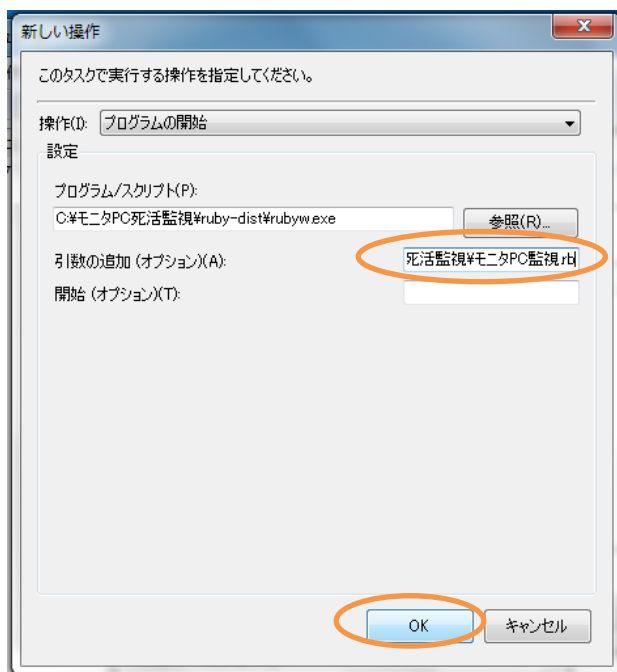


⑫「操作」のプルダウンメニューを開き「プログラムの開始」を選択する。

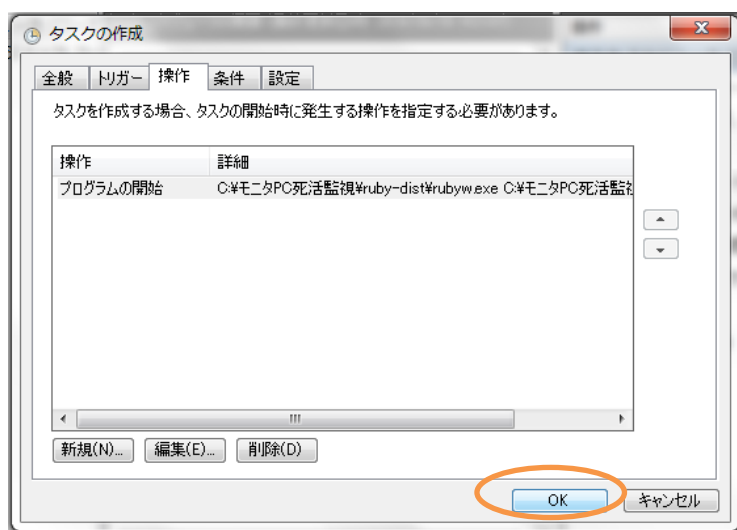
⑬「プログラム／スクリプト」の参照ボタンをクリックし、「C:\¥モニタ PC 死活監視¥ruby-dist¥rubyw.exe」を探して、選択し、「開く」ボタンをクリックする。



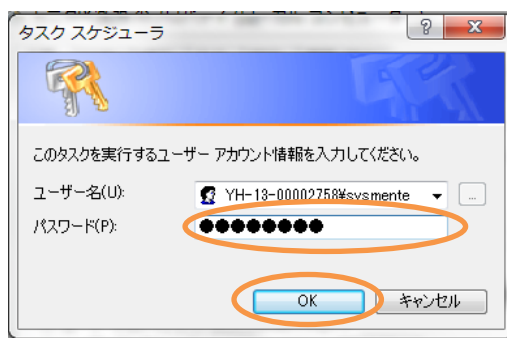
⑭「引数の追加(オプションX A)」の入力ボックスに、「C:\¥モニタ PC 死活監視¥モニタ PC 監視.rb」と入力し、「OK」ボタンをクリックする。(全角半角の違いに気を付けて正確に入力してください。)



- ⑮「操作」の設定画面にもどるので、「OK」をクリックする。



- ⑯パスワードの入力画面に、PC にログインするときのパスワードを入力して、「OK」ボタンをクリック



- ⑰最初の画面に戻る。下図のようにタスクが登録されていればOK。画面を閉じてよい。

システムを再起動すると1分ごとに実行され、開庁時間にモニタ PC が起動していなかったり YCAN に接続する LAN ケーブルが外れたりすると登録アドレスに警告メールが届く。

正常に動作しているときは、毎日の最初の実行時に、「ip_addr.txt」というファイルが新しくつくられる。

